

事業番号	07 05 01	事業改善シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	産業人材育成支援センター事業 (産業人材カレッジ事業含む)			担当課	部局	産業労働部	
総合5か 年計画	プロジェクト	1-3-2 次世代産業創出		課・室	人材育成課		
	施策の総合的展開	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興等 4 人材の育成・確保 1-6 職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり 1 職業能力開発の推進		E-mail	jinzai@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	H20 ~		

## 1 事業の概要

目指す姿	長野技能五輪・アビリンピック2012を一過性のものとして終わらせることなく、県内産業界に必要な人材の育成・確保、また、県民のライフステージに応じたキャリア形成などについて、29の関係団体・機関で構成する「産業人材育成支援ネットワーク(ながの産業人材ネット)」と一体となって総合的に人材育成支援を実施し、県内産業の振興を図る。	
現状	○若年者の就業率の低下やものづくり離れが見られる中、小・中・高校のキャリア教育の各段階で技能尊重重気運の醸成等を図っていく必要がある。 ○長野技能五輪・アビリンピックで高まった若年技能・技術者の育成の取組等を継続させるとともに、企業ニーズに対応した在職者等の技能・技術向上を目的とした講座の開催及び研修情報の提供等を行い、中小企業等の人材育成を支援していく必要がある。 ○産学官連携による人材育成の取組を強化するため、産業人材育成支援ネットワークの充実・強化を図る必要がある。	
県が関与する理由	県でなければ実施不可(内部管理)	【左記の説明、根拠法令等】 県内産業の振興のためには産学官が一体となった施策の展開が必要 (第9次県職業能力開発計画、県ものづくり産業振興戦略プラン)
	県民との協働による実施：困難	

事業内容	① 成果目標(H25)			
	○スキルアップ講座の開催 210コース ○信州ものづくりマイスターの派遣 5回 ○研修サイト登録件数 1,000件以上			
事業内容	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初) (決算) H26 (当初)
1.産業人材カレッジ事業	直接等	・県内中小企業の在職者等を対象とした講座の開催 ・企業ニーズ調査や企業等の人材育成に関する相談 ・スキルアップ講座推進員の配置	47,731 33,312	41,375
2.信州ものづくりマイスター事業	直接	・高校生等を対象としたマイスターによる講話、実演等の実施 5回	402 375	402
3.研修情報サイトの運営	委託等	・研修情報の集約と情報提供 ・研修情報サイトの更新	3,318 2,983	2,846
4.全国建具フェア長野大会開催支援事業	補助金	-	0 0	1,500
5.総合相談窓口の運営	直接	・人材育成コーディネーターの設置	1,884 1,853	1,885
6.ものづくり人材育成事業	委託	-	0 0	5,844
合計			53,335 38,523	53,852

事業 コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	44,266	44,359	53,335	53,852
	補正予算	-2,261	-4,002		
	合計(A)	42,005	40,357	53,335	53,852
	国庫支出金	0	0	1,446	1,401
	県債				
	その他(繰入金等)	8,955	8,325	10,641	15,089
	一般財源	33,050	32,032	41,248	37,362
	決算額(B)	41,112	36,510	38,523	
概算人件費	職員数(人)	7.00	7.00	7.00	7.00
概算事業費(B+A+C)	概算人件費(C)	57,806	57,806	57,806	57,806
		98,918	94,316	96,329	111,658

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
講座の開催	230コース	210コース	177コース	未達成	210コース
マイスター派遣	5回	5回	5回	達成	5回
研修サイト登録件数	1,570件	1,000件以上	2,952件	達成	2,000件以上

目標に対する成果の状況	○産業人材カレッジ事業については、職業能力開発協会で実施している事業とのすみ分けにより、高校生向けの講座等が減少したため、コース数・受講者数ともに減少した。 ○マイスター派遣については、高校からのニーズに基づいた講習内容を検討・決定し、5校実施という成果目標を達成した。 ○研修情報サイト登録件数については、利用者のニーズに幅広く応えるため、積極的な研修情報の収集を行い、成果目標を大幅に上回る登録件数を達成した。
-------------	---

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	○H26目標の達成に向け、引き続き関係団体・機関で構成する「産業人材育成支援ネットワーク(ながの産業人材ネット)」と一体となって、総合的に人材育成支援を推進し、県内産業の振興を図っていく。